

炭の家探検隊



「炭の家」でアレルギー軽快！？

～「炭の家」の体質改善効果解明に向けた検証を開始～

当社では以前空気中のイオンバランスが人体に与える影響について検証しておりますが、今年はいっ歩踏み込み「アレルギー症状が改善した」「ぜん息が治まった」「風邪を引きにくくなった」など、多くのお客様から聞かれるその効果が「炭の家」によるものなのか？を科学的に検証するという研究がスタートしました。

北海道大学大塚教授と共同で、入居前と入居1年後の採血によってユーザーの免疫機能の変化を調べるというもの。

免疫バランスのほか赤血球・白血球などの抹消血一般、肝機能・腎機能などの生化学一般に加え、ガン細胞を攻撃するというナチュラルキラー細胞活性も調べる。「炭の家入居後にユーザーの免疫バランスが変わっているのであれば、今回の検査によってその事実を立証することができる」と共同研究者の大塚教授は語る。私どもは「炭の家」の健康性には自信を持っておりますが、今回の研究で炭と健康の因果関係が明らかになるよう良い結果が出ることに期待しています。

結果が明らかになるのはもう少し先のことですが非常に楽しみです！



※この研究のスタートが新聞掲載されました。記事をご覧になりたい方はお送りしますので下記直通ダイヤルまでご連絡ください。

セミナー情報

2000棟達成記念

炭の家 セミナーを札幌にて開催します！

「炭の家」セミナー（札幌）

日時：平成22年5月19日(水)

10:00～17:00 終了後懇親会あり

会場：(株)ホーム企画センター本社

北海道札幌市北区北38条西2丁目1番26号

参加費：無料（当日の飲食代も含みます）

発売以来6年半で2000棟を突破！そして昨年は北海道圏での販売実績No.1を獲得致しました。

さて、この度当社（札幌）を会場として視察体験型のセミナーを開催いたします。当日は「炭の家」の実例紹介のほか現場視察やゲスト講師を招いての講演会も企画しております。ぜひこの機会にご参加ください！

尚、お申込み・詳細につきましては同封別紙をご参照ください。

フロンティア事業部直通ダイヤル

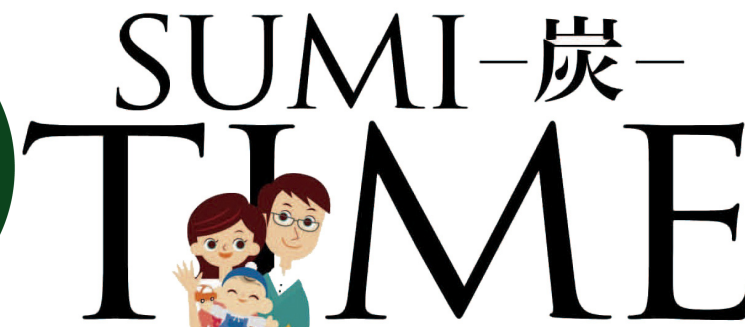
TEL (011)756-4824

FAX (011)756-4825

炭の家
パートナー募集中

当社ではスグに導入できる「炭の家」のライセンスパートナーを募集しております。詳しくは右記直通ダイヤルまで気軽にお問い合わせ下さい。

5分で読める！健康住宅で圧倒的な差別化を実現する経営者の為の情報誌



VOL. 11
2010 APR.
スミタイム

TOPICS

- 発行のご挨拶
- 気になるニュース
- 炭の家探検隊
- セミナーのご案内

お知らせ

炭の家
おかげさまで
2009年新築受注
道央圏
NO.1

おかげさまでホーム企画センター炭の家が道央圏で、
NO.1に輝きました!

順位	前年	社名	注文	販売	共同	合計
1	4	ホーム企画センター	205	51	-	256
2	3	北海道セキスイハイム	226	2	3	231
3	2	土屋ホールディングス	199	26	1	226
4	1	ミサワホーム北海道	173	25	23	221
5	5	豊栄建設	153	19	1	173

プレゼント



スミタイム バックナンバーのご案内

途中から読み始めた方、紛失したのもう一度読みたい等々、まとめてお送りしますので、ご希望の方は別紙アンケートにご記入のうえ裏面下部の直通ダイヤルまでFAXにてご返信ください。

※電話でのお問い合わせも承ります。

炭の家をもっと知りたい方は ▶▶▶ ホーム企画センター 検索 <http://www.homekikakucenter.co.jp/sumi1t/>



株式会社 ホーム企画センター

お電話でのお問い合わせや
お申込の方はこちらへ！
フロンティア事業部

0120-114-119



気になるニュース

■「炭タイム」Vol.11発刊のご挨拶■

当社でも新年度を迎え、新しい目標とともに業務を開始しました。私たちが従事するこの業界は、2009年の住宅着工数が42年ぶりに100万戸を割り込むばかりか80万戸にも満たない散々たる結果になっています。ローン減税やエコポイントなどの政策をもってしても大きく上昇する社会的要因は非常に少ないと言わざるを得ません。

しかし、吹雪の中でじっとしていると凍死してしまうように、何かしらの行動を起こさなければ現状を打開することは出来ないと考えたとき、キーポイントは何かを考えてみました。

それは世間に対する発信力をいかに高められるかだと感じています。自社の利益を追求するばかりではなく、世のため人の為に何が出来るかを追求すると、それが結果として利益につながる。「私たちの会社は社会の為に尽くせる信頼度の高い企業です」とアピール出来る取り組みが社内の推進力となってより良いサイクルが生まれるのではないのでしょうか。

当社がご紹介している「炭の家」は住宅を購入して頂けるすべてのお客様が、一生健康で暮らせるようにとの願いで完成されました。今この時代にこそ求められる商品であると確信しております。少しでも弊社が皆様のお力になれるようご提案を考えておりますので、ぜひ今一度ご連絡下さいませ！

株式会社 ホーム企画センター
フロンティア事業部長 古川 秀彦



☆児童館トルエン検出、基準値の2.6倍（札幌）

札幌市は5日、3月に改修工事を行った宮の沢児童会館（西区）で国の基準値の2.6倍超のトルエンが検出されたと発表した。市が揮発性有機化合物の濃度測定をしなかったうえ、職員1人が体調不良を訴えた後の対応にも遅れ、改修後、4月3日に臨時閉館するまでの10日間で延べ1053人も乳幼児や児童らが利用していた。



トルエンは揮発性有機化合物の一つで、吸入すると皮膚の異常、平衡感覚失調などの症状が出ることもある。市によると、工事はプレイルームの床の改修で3月21、22日に実施。特殊なコルク床にするため、トルエンを多く含む接着剤を使ったが、市は公共建築物シックハウス対策指針が定めた濃度測定をしないまま、23日に児童会館を開放した。

翌24日に女性臨時職員（42）の唇が腫れる症状が現れ、25日に「アレルギー反応」と診断された。館長が26日、市に「調査してほしい」と申し出て、市は施工業者に調査を依頼。業者が28日と31日に行った測定で基準の2.3倍から2.6倍に当たる1立方メートル当たり6千～6800マイクログラムの測定結果が出た。

業者から連絡があり、市が測定結果を把握したのは4月2日午前10時ごろ。同日も春休み中の子供たちが午前中から利用していたが、市が閉館を決めたのは午後5時45分で、午後6時まで通常通り開館した。

今月、私たちの暮らす札幌で起きた出来事です。本来は市の指針に基づき、工事後にトルエンなど化学物質の測定を行い安全を確認することが義務付けられているが、「担当部署の内規の解釈違い」で測定しなかったという。トルエンは揮発性で時間経過とともに濃度は薄まるとはいえ、解釈違いとはどういうことか？ 私たちは普段300種を超える化学物質に囲まれて生活している。どんな材料を使っていようと濃度測定はするべきで基準がどうか内規がどうかという問題ではない。まして、今回そこを利用しているのは子供達である。「炭の家」の研究にも協力いただいている小児科医院の渡辺一彦院長は「論外だ。数値も驚くほど高く、過敏な子供がトルエン中毒や化学物質過敏症になっている

可能性がある」と指摘している。

北海道ではこのニュースの経過が連日放送され話題となっています。

そもそも、建築基準法ではホルムアルデヒドとクロロピリホスの2物質しか規定されていない。人体にとって悪影響を及ぼす物質が実は規制対象外の物質から検出される可能性もある。そのような現状ではできる限り空気を動かし、滞留を防ぎ、濃度を低減しつづける仕組みが必要だというのが私たちの持論であり、それを実現するのが「炭の家」です。子供たちが安全に過ごせる空間を作ることには労を惜みず取り組んで行きたいものです。

もうひとつシックハウス関連の話をご紹介します。

記憶に新しい中国の四川大地震で被災した人たちのための仮設住宅でシックハウスが発生。その結果、流産や死産が相次いでいるのではないかとというニュースです。

☆四川大地震 仮設住宅で相次ぐ流産（中国）

昨年5月12日に発生し、9万人近い死者・行方不明者を出した中国・四川大地震で、大きな被害に見舞われた四川省都江堰市の仮設住宅に住む被災者の流産や死産が相次いで報告されていることが12日、分かった。中国政府や地元衛生当局は調査に乗り出している模様だが、結果を一切公表しておらず、国内メディアに被災地での流産に関する報道を禁じるなど情報統制を強めている。

地元医師らによると、同市人民病院では震災後、都江堰地区の妊婦100人余りの胎児が胎内で死亡していると診断された。関係者によると、別の病院では4月中旬までに43人が無事に産まれたが、39人が流産や死産となった。

同市の小学校のある学級では、子供を失った母親8人が再妊娠したが、7人が死産となり、無事に産まれたのは1人だった。

仮設住宅での健康被害を巡っては、05年8月に米南東部を襲ったハリケーン・カトリーナの被災地で、シックハウス症候群の原因となる化学物質ホルムアルデヒドの影響が報告されている。死産や流産とホルムアルデヒドを明確に関連づける疫学調査結果はなく、流産は心理的ストレスの影響との見方もあるが、都江堰の医師や被災者は仮設住宅から排出されるホルムアルデヒドの影響を指摘している。

H21.5.12 毎日新聞 より

昨年のニュースですから目にされた方も多いと思いますが、なんとショッキングなニュースです。

この事実を地元衛生局が取材、報道を禁じる通達をだしたとか・・・面談させて頂いた方には「中国でシックハウス11万人」という平成16年頃の記事をよくご紹介するのですが、その後北京オリンピックを経て、近年は経済的にも成長著しい国ですが、住まいで国民の健康を守るという意識や対策は進んでいないようです。

対岸の火事ではありません。

日本も地震など災害の多い国ですから、仮設住宅の対策には万全を期して欲しいと願わんばかりです。



弊社の建てる家は100%「炭の家」です。そして、お引き渡し前に全棟空気測定を行い、化学物質5種について0.01ppm未満であることを確認します。

なぜなら、空気は万人にとって平等でなければならぬという理念があり、建てる家によって不公平があってはならないと考えているからです。

よく面談の折「お客様がどのくらい炭や空気に関心があるのかわからないからなあ」という声を聞きます。

しかし、必ず潜在ニーズはあるのです。お客様は気づいていないだけです。私たちは「炭の家」2000棟を販売するまでにその数倍のお客様に「空気品質の大切さ」を啓蒙してきました。残念ながら弊社とご縁を結ばなかった方々にも空気品質の大切さについては共感いただいてまいりました。家電分野でもシャープのプラズマクラスターイオン発生機を搭載した商品の累計販売台数が200万台を突破したとか。

「空気を買う時代」の本格的な到来はすぐそこまで来ているように思います。

文：フロンティア事業部 山田

フロンティア事業部直通ダイヤル

TEL (011)756-4824
FAX (011)756-4825